

「未来高岡」ステップアップトーク（西五位地区）会議記録 ＜要旨＞

1、日 時 平成 28 年 11 月 19 日（土） 午後 3 時から 4 時

2、場 所 木楽館

3、出席者 市民 38 名（うち女性 7 名）

高岡市 市長、経営企画部政策監、広報統計課長

4、会議次第

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

.....

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

参加者

- ・市役所の窓口で就学援助制度について案内がなかったことから情報を得ることができず、今年 5 月中旬にできるはずの手続きができなかった。その点について市役所がミス認めないことに問題がある。子育て支援ガイドブック『おおきくなあ〜れ』にも子どもの就学援助制度が記載されていなかったため、制度について知ることができず申請が遅れた。11 月以降については認定を受けたが、なぜ 5 月に遡って認定されないのか。市役所はミスを認め、貰えるはずだったお金を返してほしい。

市長

- ・窓口に来庁された際に、十分な情報をお伝えできなかったことは大変申し訳なく思う。職員に指示をし、子育てに関することなど、行政のそれぞれの分野についてお答えできるようにしていきたい。就学援助制度の仕組みについて市で整理したが、申請手続きをしていただいてから支給する制度となっており、遡って支給することはできないのでご理解いただきたい。職員の不手際についてはお詫びしたい。

参加者

- ・地区内にある除雪車が通れない道に消雪装置を設置してほしい。

市長

- ・消雪装置の設置要望は市に多く寄せられているが、原則として機械除雪で対応することとしている。具体的な場所を改めて確認したい。

参加者

- ・福岡町にある社会福祉センターこぶし荘では、介護予防や認知症予防のため毎週月曜日に“生きがい倶楽部”を実施しているが、同様の事業についての高岡市全体の実施状況を教えてほしい。また、市から社会福祉協議会へ交付される事業費が、来年度減額されると聞いたが、高齢化対策は重要であると思うので、削減することなく従来通り支給してほしい。

市長

- ・事業の実施状況については、調べてお答えしたい。また、社会福祉協議会に対する事業費の削減については、市全体として予算が厳しい状況であり、事業の見直しを行いながら、効果的な予算配分ができるよう努めていきたい。

参加者

- ・現在、県道小矢部伏木港線の小矢部市田川から福岡町の境まで道路の整備工事が行われているが、その先の区間については、未だに整備計画がない状況である。交通量が増えており、高岡市はもっと国道や県道が整備されるように国や県に対して働きかけてほしい。

市長

- ・国や県に整備を要望していきたい。

参加者

- ・市内の小中学校は統廃合等により廃校になっていく学校が増えていくと聞いているが、廃校後の活用方針はどのようなものか。

市長

- ・例えば、石堤小学校などは、今後のあり方について地域で話し合っている。人口減少により小学校の維持が厳しい地域については、統廃合を含めてどのように施設を集約していくのか検討していきたい。

参加者

- ・福岡駅前の土地区画整理事業について、福岡駅前の国道 8 号線沿いに 1 軒だけそのまま残っている家がある。その家の所有者は、以前から移転先となる希望地を伝えているが、移転希望先となる土地の進捗状況の関係で家が移転できない状況である。土地区画整理事業が進むなか家の移転ができず困っている状況であるため、せめて移転可能時期を教えてあげてほしい。

市長

- ・状況を調べてお伝えしたい。

参加者

- ・まちなかの空き家対策は行っているようだが、西五位地区は行っているのか。今後、管理されない空き家も増えていくと思うが、市は空き家についてどの程度把握しているか。

市長

- ・先頃、空き家対策の推進に関する特別措置法が制定され、それを踏まえて高岡市では空き家に関する条例を策定した。危険な空き家や人が住める空き家など、空き家にもいくつかの種類があるが、人が住める空き家については、できるだけ早く整備した方が良く考えており、空き家の状況を把握していきたい。人が住める空き家については、まち家など整備してゲストハウスやシェアハウスにしたり、店舗にしたりする動きが出てきており、郊外の空き家についても移住したいと思うような利用の仕方を考えていきたい。危険な状態で、景観上問題があったり、周囲に迷惑がかかるような空き家については、所有者が見つからない場合などの対応を検討している。近隣にそのような家がある場合は教えていただきたい。